



陸・海・空自衛官がラジオで自衛隊をPR



自衛隊東京地方協力本部府中分駐所（所長 中野2陸尉）は9月8日、狛江市のFMラジオ局「こまえエフエム」の番組に出演し、自衛隊の活動等を紹介した。「こまえエフエム」は地域のコミュニティFMラジオ局として地域に根差した情報を発信しており、狛江市を中心に聴取することができる。今回の出演は狛江市自衛官募集相談員からの紹介により実現し、毎週火曜日の午後に放送されている番組「AFTERNOON NAVI」に府中分駐所所属の陸・海・空自衛官3名が参加した。

狛江市担当の広報官 土合3海曹は「父と祖父が海上自衛官で幼い頃より自衛隊に馴染みがあり、四方を海に囲まれた海洋国家である日本の安全を守りたいという思いから海上自衛隊への入隊を希望した」と語り、築田2空曹は弾道ミサイル防衛に関する自動警戒管制システムの保守整備にあたるクルーチーフを任せられた際、緊張感とともにやりがいを感じた勤務経験について紹介した。府中分駐所長でもある中野2陸尉は、阪神・淡路大震災で災害派遣活動に従事したことや、約5年前に幹部自衛官試験に合格し、これまでの経験を活かして部下の指導にあたりたいことなどを述べた。

また、近年続く災害で自衛隊の災害派遣回数は増加傾向にあり、幅広い活動をする中において自衛官の人材確保が必要であることなどを説明した。「強靱な体力がないと採用されないのではないかと考える方もいるが、運動系の部活等を経験していなくても採用試験に合格すれば入隊できる」「入隊後に訓練を通じて体力が自然と身に付くような教育プログラムが計画されている」といった入隊希望者へのアドバイスも付け加えた。

府中所はラジオやHP、SNSを積極的に利用して広報活動を実施し、一人でも多くの方に自衛隊に対する理解と関心を促進していくとしている。

オフィスツアーで横須賀基地を案内



自衛隊東京地方協力本部（本部長 岸良陸将補…当時）は8月21日、海上自衛隊横須賀基地において、海自概要説明や艦艇見学等により自衛隊に対する興味を振作等を図ることを目的として、第2回オフィスツアーを開催した。ツアーには大学3年生ら100名以上の申し込みがあったが、新型コロナウイルス感染症防止のため人数を制限し、51名での実施となった。

当日は横須賀地方総監部会議室における概要説明、「護衛艦てるづき」の乗艦見学、「砕氷艦しらせ」の外観見学及びブリス説明を通じ、海上自衛隊の任務及び海上自衛官の艦艇等での勤務の実態について説明した。

感染予防の観点から当初予定していた湾内クルーズや懇談等は実施できなかったものの、実際に勤務している乗員等からの丁寧な説明と質疑応答により「現場の自衛官の話を聞くことができて大変良かった。特に護衛艦内で勤務する隊員との懇談は印象的だった」「基地や艦艇の実物を見ることができ、貴重な体験だった」といった感想が多く寄せられた。現地現物による体験型ツアーを通じ、自衛隊の雰囲気を感じた様子が見られた。

東京地本は今後も、陸海空自衛隊の職場見学、事務系の共通職種の職場見学や職業体験などの内容でオフィスツアーを複数回計画しており、大学生らの自衛隊に対する理解を促進するとともに、志願意欲の向上を図っていくとしている。

